

水を大切にする住民活動の広がりを目指して一般社団法人を立ち上げた「Com aqua」のメンバーら(京都市東山区・白川)



京の水文化 世界に発信

住民や学識者 法人設立

15年の同フォーラムへの参加に向けて国内での市民ネットワーク構築を目指す。

法人名は、ともに活動する仲間とのつながり「水の環(輪)」を表し、9月末

水問題に関心を持つ「住民の輪」をつくらうと、京都市内の住民や学識者らのグループが一般社団法人

に発足。03年の同フォーラムで農業用水管理のあり方について発表した京都大

「世界水フォーラム」から10年

連携構築 政策提案も

「Com aqua(コム・アクア)」を立ち上げた。2003年に市内などで開かれた世界水フォーラムの参加者らがメンバー。開催10年目での法人化で、次回

学院地球環境学堂の渡邊裕教授(60)が代表理事を務め、水問題に高い関心を持つ生花店や理髪店の店主ら計9人が発起人となった。

活動は、水をテーマにしたシンポジウムや京滋の河川をめぐるウォークラリー開催のほか、12月に東山区で地元商店街と連携して白川の歴史を学ぶ催しを行う。京滋で水問題をテーマに活動するNPOや団体との連携や情報交換も行い、行政への政策提案を目指す。

子どもから大人まで幅広い会員を募り、会費の一部は途上国の水環境改善に役立てる。渡邊教授と副代表理事の会社役員河合美奈子さん(47)は「水との関わりの中で人とつながる喜びを高め、昔から守ってきた京都の水文化を世界に発信したい」と話す。問い合わせは同法人事務局ファクス075(708)8006 またはEメールinfo@com aqua.org。

(今川敢士)